

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年1月12日(金)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO30

校長 月原 浩

令和5年度 CS 春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵なお日

～気づき・考え・行動する～

あけまして おめでとうございます



2024年、令和6年を迎えました。正月早々、石川県能登半島地震という痛ましい自然災害や、その災害のための支援物資を運ぶために羽田空港で待機していた海上保安庁の飛行機の悲しい事故・・・亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに未だ寒い中救出を待っている方々が無事に戻ってこられること、さらに避難されている方々が一刻でも早く安心して生活ができるようになることを心より願っております。



さて、学校には、大谷選手からのプレゼント「グローブ3点」が届きました。全校TV朝会で子どもたちに紹介しました。子どもたちには、「なぜ3つ入っていると思う？」と問いかけました。まずは、2つ取り出して見せ、何が違うか考えさせました。TVでは少し見にくい状態でしたが、大きさに違いがありました。小さい方では、私は入りません。そうです。大谷選手は、1年生など低学年も視野に入れ全学年の児童がグローブをはめやすいように配付していました。あと1つは、どのようなグローブでしょうか？これも2つ提示して考えさせたのですが、報道でもあったように左利き用のグローブでした。このような配慮ができる大谷選手の生き方考え方に、また感心させられました。

全国の2万校の小学校にプレゼントされたグローブ。地域によっては、全校児童3人の学校もあるようで即使っていたようです。本校は

約850名の児童がいますので、卒業が近い6年生から回していきたいと思っています。